

令和5年度 第1四半期（2023年4月～6月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=24 事業所(回答率 96%)

2. 調査対象期間

今期=2023年4月～6月

- ・前年同月比=前年同期(2022年4月～6月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2023年1月～3月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2023年7月～9月)の見通し

3. 調査期間 2023年6月15日～6月23日

4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

5. 調査項目ごとの状況

(1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲37.4 で、業種別にみると「製造業」が▲19.8 で最も高く、「建設業」が▲20.0 で続いている。

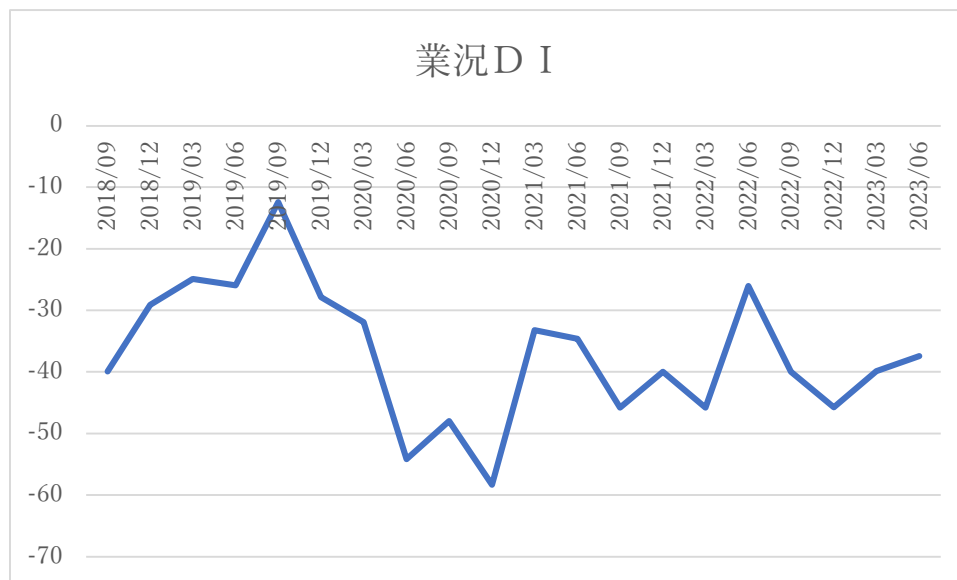
先行きは 8.3p改善の▲29.1 で、業種別では「建設業」「サービス業」で改善、「製造業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2023年 1~3月期 (今回調査)		2023年 4~6月期 (今回調査)		2023年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲39.9	↗	▲37.4	↗	▲29.1	↗
建設業	▲40.0	↘	▲20.0	↗	0.2	↗
製造業	▲19.8	↗	▲19.8	→	▲20.0	↘
卸売業	▲60.0	→	▲60.0	→	▲60.0	→
小売業	▲19.8	↗	▲24.8	↘	▲24.8	→
サービス業	▲59.8	↗	▲60.0	↘	▲40.0	↗
(参考)全国全産業	▲14.8	↗	▲8.9	↗	▲10.2	↘
(参考)東北全産業	▲13.1	↗	▲8.8	↗	▲12.6	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



(2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲41.5 で、業種別にみると「製造業」が 0.4 で最も高く、「建設業」が▲40.0 で続いている。

先行きは 8.2p 改善の▲33.3 で、「建設業」「小売業」「サービス業」で改善、「製造業」「卸売業」で悪化となっている。

図表2 売上高DI

	2023年 1~3月期 (今回調査)		2023年 4~6月期 (今回調査)		2023年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲47.8	↘	▲41.5	↗	▲33.3	↗
建設業	▲59.6	↘	▲40.0	↗	▲19.8	↗
製造業	▲19.8	→	0.4	↗	▲20.0	↘
卸売業	▲79.8	↘	▲59.8	↗	▲60.0	↘
小売業	▲39.8	↗	▲49.8	↘	▲24.8	↗
サービス業	▲39.8	→	▲60.0	↘	▲40.0	↗
(参考)全国全産業	1.9	↗	4.0	↗	0.0	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

(3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲37.4 で、業種別にみると「製造業」が 0.4 で最も高く、「建設業」が▲20.0 で続いている。

先行きは 4.1p 改善の▲33.3 で、「建設業」「小売業」で改善、「製造業」で悪化となっている。

図表3 採算DI

	2023年 1~3月期 (今回調査)		2023年 4~6月期 (今回調査)		2023年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲44.0	↗	▲37.4	↗	▲33.3	↗
建設業	▲40.0	↘	▲20.0	↗	0.0	↗
製造業	▲40.0	↘	0.4	↗	▲20.0	↘
卸売業	▲60.0	→	▲60.0	→	▲60.0	→
小売業	▲40.0	↗	▲49.8	↘	▲24.8	↗
サービス業	▲40.0	↗	▲60.0	↘	▲60.0	→
(参考)全国全産業	▲20.1	↗	▲14.1	↗	▲15.0	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲16.6で、業種別にみると「建設業」が0.0で最も高く、「製造業」が▲19.8で続いている。

先行きは0.1p悪化の▲16.7で、「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」で横ばい、「製造業」で悪化となっている。

図表4 資金繰りDI

	2023年 1～3月期 (今回調査)		2023年 4～6月期 (今回調査)		2023年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲20.0	↘	▲16.6	↗	▲16.7	↘
建設業	0.0	→	0.0	→	0.0	→
製造業	▲20.0	↘	▲19.8	↗	▲20.0	↘
卸売業	▲20.0	→	▲20.0	→	▲20.0	→
小売業	▲20.0	↘	▲25.0	↘	▲25.0	→
サービス業	▲40.0	↘	▲20.0	↗	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲15.1	↗	▲12.3	↗	▲12.9	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲75.0で、業種別にみると「サービス業」が▲60.0で最も高く、「小売業」が▲75.0で続いている。

先行きは横ばいの▲75.0で、全ての業種で横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2023年 1～3月期 (今回調査)		2023年 4～6月期 (今回調査)		2023年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲80.0	↘	▲75.0	↗	▲75.0	→
建設業	▲80.0	↘	▲80.0	→	▲80.0	→
製造業	▲80.0	→	▲80.0	→	▲80.0	→
卸売業	▲100.0	→	▲80.0	↗	▲80.0	→
小売業	▲80.0	↘	▲75.0	↗	▲75.0	→
サービス業	▲60.0	→	▲60.0	→	▲60.0	→
(参考)全国全産業	▲75.1	↘	▲69.4	↗	▲60.5	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は0.2で、全ての業種でやや不足となっている。

先行きは4.2p悪化の▲4.0で、「サービス業」で過剰、その他の業種でやや不足となっている。

図表6 従業員DI

	2023年 1～3月期 (今回調査)		2023年 4～6月期 (今回調査)		2023年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲3.8	↘	0.2	↗	▲4.0	↘
建設業	0.2	↘	0.4	↗	0.4	→
製造業	0.0	↘	0.2	↗	0.0	↘
卸売業	▲19.8	↘	0.2	↗	0.2	→
小売業	0.2	↗	0.0	↘	0.3	↗
サービス業	0.6	↗	0.2	↘	▲20.0	↘
(参考)全国全産業	21.8	↗	20.9	↘	21.4	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
電気料の高騰などで原材料価格の上昇が感じられる。	建設業
資材高騰に伴い住宅価格の上昇により顧客数の減少。	建設業
新車入荷時期が不透明で売上減少。	小売業
消耗品の値段が大幅に上昇している。必要経費が増えるため、今後はゲーム代などの値上げを検討中。	サービス業